

由利

立教186年 令和5年

1 月 号



立教186年元旦祭にて

十二月

1ヶ月間の主な歩み

- 一六日 神殿、婦人会教会大掃除
- 一九日 北蒲原分教会月次祭
- 二〇日 徳沢分教会四代会長告別式
- 二二日 大教会月次祭
- 二三日 会長、理事会議
- 二六日 御本部月次祭
- 三〇日 もちつき、年越し

立教一八六年一月

- 一日 元旦祭（10時30分）
- 三日 支部例会（羽後分教会）
- 一〇日 お願いづとめ
- 五日〜十一日 部内大祭巡教
- 五日 お願いづとめ
- 七日 おさづけ取り次ぎ日
- 一三日 由利分教会春季大祭

新年の御挨拶



由利分教会長

佐々木 正明

教祖百四十年祭三年千日の最初の年を迎えて

皆様改めまして、新年明けましておめでとうございます。皆様御承知のように、今年は教祖百四十年祭三年千日の最初の年です。

昨年の御本部秋季大祭で、真柱様は、年祭活動のかなめともなる諭達第四号を發布されました。以前にもお伝えしたと思いますが、その中で現代の様相として、「他者への思いやりを欠いた自己主張や、利他的行動があふれ、……我が身思案に流れている。」と警鐘を鳴らされています。

又一月四日の天理時報で、中田善亮表統領先生は諭達にふれられ、次

の様に語っておられます。

『あくまでも「諭達」は、この道を信仰する一人ひとりに対する、真柱様からのお声がけです。その内容は、真柱様が自分に対しておっしゃっていることだと受けとめることが大切だと思っています。』

そのうえで、たとえば「私たち」という言葉を「私」に置き換え、一人称で読ませてもらう。そのように捉えることで、おのずと「行間」も見えてくるのではないかと思います。こうした姿勢が自らの成人につながるっていくのです。

成人とは、分かりやすく言えば「成程の人」に近づいていくということでもあると思います。では成程の人とは、どんな人を指すのか。明確な答えはありませんが、それほど難しく考える必要はないと思います。たとえば「この人に言われたら素直に聞ける」「あの人に頼まれると断れない」という人がいるでしょう。その人の物腰や普段の言葉のかけ方を、

自らの手本としていくのです。それも、成程の人に近づく方法の一つだと思っています。

そのためには、教えを深め、心に治めることが欠かせません。簡単ではありませんが、成程の人への歩みが、「ひながたをたどる」ことにもつながるはずです。

この3年間を一層の成人を図る契機として、各々が3年後に描く姿に向けて、精いっぱい動かしてもらいましょう。』

「ひながたをたどる事」や「成人を図る事」は、現実的にはそう簡単ではないかも知れません。まずは、そのような方向に向かって例えば小さな事でも実行という事に焦点をあてて進ませてもらう事が大切ではないかと思っておる所です。

いずれにしても、このような方向に向かって共に元気に勇んで通らせてもらう事をお願い致します。今月の言葉とさせて頂きます。

神殿大掃除ひのきしん 婦人会による教会大掃除

去る十二月十六日九時半から神殿の大掃除、婦人会として教会内の大掃除をして頂きました。

大掃除終了後、ハンバーガーとお茶を頂き、歓談をして楽しい一時を過ごしました。

また三十一日には、神饌場、神具庫の大掃除を行いました。

皆様の真実により、教会内が隅々までキレイになり、気持ち良く新年、元旦祭を迎えることができました。誠にありがとうございました。



新年を迎える喜びと共に 教会元旦祭執行

一月元日午前十時半より元旦祭を執り行わせて頂きました。由利につながるたくさんの方々の皆様の真実のおかげで勇んでつとめさせて頂くことができました。

おつとめ後恒例の記念写真を撮り、その後直会となりました。ゆつくりと盃を交わしながら歓談させて頂き、新年を喜ばせて頂きました。

これからの行事

婦人会より

婦人会創立記念日十二下りておどりを二月五日(日)十時より行います。教祖百四十年祭三年千日の一年目、心新たにつとめさせて頂きましよう。よろしくお願い致します。
(参加費、二百円。はっぴ、白ソックス、扇持参。)

徳沢分教会四代会長 佐々木真之丞氏お出直し

去る十二月二十日、徳沢分教会



四代会長、佐々木真之丞氏が享年八十九才でお出直しされました。同会長は、徳沢分教会の充実の上に尽力され、と共に、地域社会の上にも貢献されました。取り分け、畜産業の上に活躍され、と共に、徳沢地区の部落長として多大なる貢献をされました。ここに心より御冥福を御祈り申し上げます。

2 月 祭 典 役 割 表

神 殿 講 話 仁 賀 保 分 教 会 会 長

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

ておどり																会 長		祭主													
地方(主)	地方(副)	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	亀田町	東滝沢	坐りづとめ	小林理英子	矢島町	会長夫人	会 長	仁賀保	由利道	亀田町	利翔布	上之浜	齋藤清一	雄物川	由利東布	東滝沢(前)	東滝沢	小松敬子	木内教子	小川道子	
伊藤伸	由利東布	豊島栄二	豊島優	佐々木義實	伊藤一男	中村喜正	齋藤清一	豊島末子	佐々木良美	小川貴美子	由利道	齋藤清一	前 半	松田理奈	伊藤奈津子	佐々木めぐみ	亀田町	上之浜	由利東布	東滝沢	利翔布	利翔布	齋藤賢爾	佐々木義實	佐々木義實	伊藤一男	齋藤清一	木内正信	豊島末子	佐々木良美	小川貴美子
																由利道		指図方													

部内だより

矢島町分教会

今の所雪が少なくお正月も久しぶりに除雪もなく、ゆつくりした日々でした。本年も宜しくお願い致します。

仁賀保分教会

明けましておめでとございます。元旦祭、家族七人で十一時よりつとめさせて頂きました。今年もよろしくお願い致します。